



# みなさまのおかげで『白神ねぎ』 販売額10億円達成しました！



JAあきた白神の『白神ねぎ』販売額10億円達成を記念した祝賀会が1月19日、能代市のプラザ都で開催されました。生産者やJA、行政の関係者ら約230名が出席し、悲願の10億円突破を祝うとともに、秋田県の園芸振興のけん引役として『白神ねぎ』の生産振興、ブランド力向上に努めることを誓い合いました。

祝賀会で佐藤謙悦組合長は「10億円達成は生産者一人ひとりの努力の積み重ねが市場や消費者に高く評価された結果。10億円産地として県内外から注目されると思うが、その名に恥じぬよう、これから消費者に愛される安全・安心な『白神ねぎ』を安定供給していきたい」とあいさつ。また、来賓の中島英史副知事は「販売額10億円は大変素晴らしいこと。あわせて、県内の園芸メガ団地の中

で最も早く販売額1億円を達成した。『白神ねぎ』のさらなる飛躍を期待する」、斉藤滋宣能代市長は「さらに販売額を伸ばし、20億、30億を目指して頑張ってもらいたい」と述べました。

その後、『白神ねぎ』10億円販売達成に向けて、管理技術や品質向上によるブランド化への取り組みやその礎を築き上げた個人4名へ感謝状が贈られ、団体2組が特別表彰されました。

平成24年度に『白神ねぎ』が商標登録され、ねぎの産地として飛躍するために、面積の拡大と品質の均一を図るため『白神ねぎ』10億円販売達成プロジェクトチームが発足しました。補助金の創設や部会員相互による品質検査、ステッカーの作成などの知名度向上対策などの活動を通して、悲願の10億円販売を達成しました。

